

事務局だより

SHIGENKAI

示現会

N08

2020・12・20

- 第74回示現会展開催・出品者募集
- 新しい表彰 樋口賞・新人奨励賞
- <特集 1> 募集広告他・研究会
- <特集 2> コロナに負けずに

いよいよ、激動の20年度が終わり、新しい21年度が始まります。74回展は、今年中止となった73回展の分を含めて2倍すばらしい展覧会にと思っていますが、残念ながら、コロナ感染の勢いは、収まりません。最終的には2月16日の理事会で決定することになっていますが、予断が許さない状況でもあります。開催を前提に準備を進めていきます。皆様も作品準備よろしくお願ひします。

いよいよ74回展に向けての準備が始まりました。応募用紙などは12月発送いたしました。確認ください。

第74回 示現会展 出品者募集

みなさんのお知りあい、又お近くに絵を描いている人はいませんか。

もしいましたら、ぜひ示現会展への出品をお誘いください。上限は100号ですが30号から出品できます。六本木にある、国立新美術館での展示、さらに支部のある地方では巡回展が開催され、そこでも展示されます。

74回展 一般の応募に関して

- 種類・点数 油絵・水彩・その他絵画 1点まで
- 作品の大きさ F30号以上F100号
(長 162.0cm 短 130.3cm)以内
Sサイズは80号以内とする。(145.5×145.5)
- 搬入 3月20日(土)・21日(日)
※ 午前10時30分より午後4時
搬入場所 国立新美術館 (地下1階)
東京都港区六本木7-22-2
- 額縁幅について<油絵> 幅10cm以内(はさきを含む)
<水彩・その他絵画> マットを含め10cm以内
※水彩額・ガラス入りは不可、アクリルは可
- 出品料 一般 8000円
40歳未満 4000円
20歳未満 2000円
- 初出品者を対象に優秀作品を表彰する

一般の方の応募用紙は、会の皆様には12月発送でお送りしてあります。また、応募に関してはホームページの応募のコーナーをご覧ください。または会館事務所に連絡ください

研究会に参加を！

詳しくは裏面をご覧ください

会誌の発行

全ページカラーの新しいスタイルで会誌を発行いたしました。12月発送で皆様のお手元に届いたと思います。この「事務局だより」でもお知らせしましたが、会誌係のみなさんがコロナ禍の非常に大変な中、作業いたしました。会誌係の皆さん、お疲れさまでした。

示現会会員・準会員・会友の皆様へ

73回展が中止になりそれに伴い巡回展なども実施出来ないという状況の20年度でしたが、もうすぐ21年の新しい年を迎えます。ほとんどの方が74回展に向けての出品作品の準備を進めていることと思います。

ただ、いろいろな事情で大きな絵が描けないという方の声も聞こえてきています。

会としては、そのような方たちのために30号から出品作品を受け付けております。

今年は大きな作品が描けなくとも次の機会にはまた100号を出品という選択もあります。

そのような作品はコーナーなどを決めて1枚、1枚をしっかりと鑑賞していただけるよう展示の方法など工夫いたします。

表彰について

74回展・75回展に「樋口賞」

初出品者対象「新人奨励賞」

74回展は新たに2つの賞を設けました。

この6月ご逝去された前理事長樋口洋先生のご家族から74回展、75回展に賞を授与したいというお話があり、樋口賞が決まりました。また、初めて示現会展に出品される方を対象に、新人奨励賞を選考することになりました。ここ数年、新しく示現会に応募される方のレベルが非常に高くなってきていました。初出品者の数も多くなってきています。これは支部の努力も大きいのですが、それに少しでも応えることができればというのが会の思いです。今までの賞を含め、特に今回新たな賞の受賞者はどなたになるのか楽しみです。

文部科学大臣賞・1名
示現会賞・1名
会員賞・2名
準会員賞・2名
会友賞・2名
佳作賞・19名(未定)
新人奨励賞・2名
樋口賞・1名
大内田賞・1名
樋口賞・1名
SOMPO美術館賞(旧損保ジャパン日本興亜美術財団賞)・1名

3月31日(水)示現会展初日

授賞式

授賞の方へは別途案内をお送りします

リーフレットは今回の展示作品を中心に授賞作品も掲載する予定です



特集1

募集中!

例年、示現会では「目録」が発行されます。これに載せる広告を募集します。72回展の目録には35の広告が掲載されました。身近にある、お店、会社の広告を勧誘ください。広告は、美術関係だけでなく、料理店、ホテル、医療、雑貨など多種にわたっています。広告は一枠15000円からになります。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

研究会用 写真撮影のヒント

- 1 作品を正確な四角で撮影する
 - * 縦の木枠のラインを平行、また横のラインを垂直にする。台形になる写真が多いので注意
- 2 画面が光らないようにする
 - * 光が反射しない場所を見つける。野外(自然光)で日陰を見つける。屋内では特に窓からの光、また部屋の照明に注意する

研究会に参加を!

参加締切日(1月、2月の2回実施します)

必着

〇1月・1月11日(月) 〇2月・2月8日(月)

*実施日 1月17日(日) 2月14日(日)

送付先 221-0843 横浜市神奈川区松が丘77-14
中西 敦 宛

研究会には、どなたでも参加できます。

リモート研究会になりますので、直接研究会の会場に来る必要はありません。送ってきた写真をA4用紙に取り込み、その用紙に講師が指導した言葉を記入します。また、USBメモリーを送られた方には、指導の様子をそのまま映像、音声を取り込み、A4の記入用紙と一緒に返送します。

- 1 作品の写真の用意 はがき大くらいの大きさが良い
裏に、氏名、題名、作品の号数を書いておく
- 2 封筒に入れ、返信用封筒も同封して送る
返信用封筒(長3型)には自宅住所を記入、切手は140円を貼る
- 3 写真はA4用紙にコピーされ それに講師の言葉を記入して本人に送り返される
- 4 USBメモリーを同封すると、その中に講師の指導している映像、音声が入ったデータを入れて送り返す。
- 5 終了後返信封筒に、参加料の振込先があるので3000円振り込む

流れは以上ようになります。詳しくはホームページの「研究会」また事務局だよりNO2をご覧ください。

特集2

元支部長として
尽力いただいた
先生方からの
便りです。

コロナに負けずに!

新潟では県内の二大展覧会である春の県展、秋の芸展が中止になるなど、寂しい年になりました。そんな中、渋木富士夫、井浦勝之の両氏が見応えのある個展を開催されました。私は日展拝見や、スケッチにも出かける気力も無くなりましたが、2人の作品に刺激され「新潟の美術作家小品展」に向けて試行錯誤をくり返している状況です。

宇賀治徹男
(会員・前新潟県支部長)

2021.1.20(水)~25(月)
10:00~19:00(土曜は19:30まで) 無休/最終日は16:00終了

新潟伊勢丹

新潟市中央区八千代1-6-1
7階 アートホール/入場無料
県在住ならびに出身の美術作家、
約300人からお寄せいただいた作品を販売します。
収量は県内美術活動振興のために広く活用されます。

作品のご購入方法

- ・色 紙: 申し込み費 初日3万円~最終日2万円で販売します
- ・小 品: 申し込み費 3万円以上の定価販売です
- ・オークション: 10万円以上の小品が対象 24日(日)17:00開票
申し込みもお支払いも現金に限りです

主催 新潟日報社・新潟日報美術振興財団
新潟日報社と新潟日報美術振興財団の主催で運営され、
収益金は県内の美術振興や、芸術活動の支援に活用されて
います。1978年に小林百貨店で開いた「新書チャリティー
色紙展」が前身です。新書を知る人アートが一堂に集う
展覧会です。
今年も心通う「案」と、めぐり合えますように。

にいがたの美術作家小品展 2021

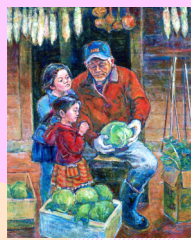
ふるさと新潟の美術振興を



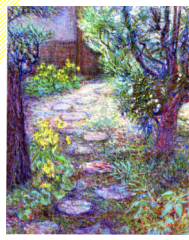
能・千手
岡本昭子



旅の途中
加古博美



納屋の前にて
増田美知子



秋日
山下千鶴

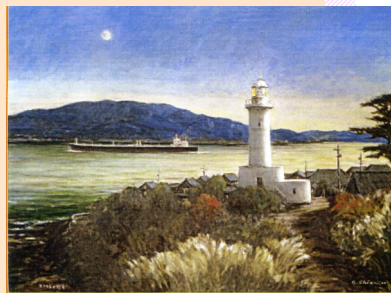


コロナ禍の日々、テレビの日曜美術館を楽しみにして、作品制作過ごす中、第35回日本の海洋美術展に出品依頼の朗報が届く。
会場は、東京芸術劇場(池袋)8月、あと福岡アジア美術館へ、9月に巡回を終えた。日展とは別に、海洋が

テーマの画壇派なき他流試合、
示現会から、鈴木實先生は「刻」
を、私は「有明けの瀬戸に行く」
と題し出品した。快挙である。

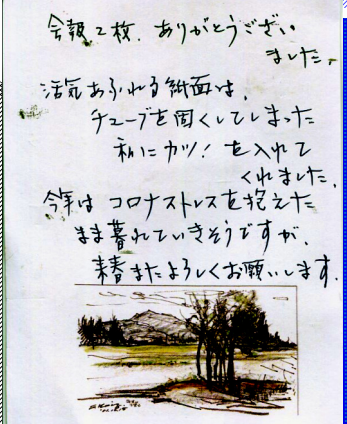
志賀源吾
(会員・前愛知県支部長)

「新美術新聞」10月1日号に
海洋美術展の作品が掲載
されています。



ホームページをご覧ください

右のバーコードをスマホなどで読み取ると示現会のホームページが出ます。NO1からの事務局だよりも見ることができます。



小泉幸雄さんから葉書をいただきました

あわただしい年の瀬を迎えています。
今年は特に「コロナ」感染の騒動が続き、非常に大変な1年になりました。ほとんどの方が外出を控えての生活ではなかつたでしょうか。
そのような中で少しでも皆様
に示現会の様子をお伝えしたく、
「事務局だより」を発行いたしま
した。同じ絵を描く仲間として
共通の話題を持てるよう事務局
一同全力で当たりました。多く
の方から励ましの言葉をいただ
き大変うれしく思っています。
2021年良い年にいたしましたし
よう。
事務局 一同